Nippon Plant Seeder Co.,Ltd.

取 扱 説 明 書

テープシーダー

シーダーテープ播種機

TEM−4WD

GX25　4サイクルエンジン用

このたびは日本プラントシーダーの製品をお買い上げいただきまして
まことにありがとうございます。

⚠注意	正しく安全にご使用いただくためにこの取扱説明書をよくお読みいただいたうえでご使用ください。また、いつでもご覧いただけますように大切に保管してくださいますようお願い申し上げます。

目　次

■ はじめに … 1
■ 安全に関するご注意 … 2
■ 各部の名称 … 5
■ 作業機の組立 … 6
■ オプション部品（別売）の取付 … 11
■ 運転前の準備 … 16
■ 運転，作業，移動のしかた … 17
■ 点検と整備・調整 … 20
■ 長期保管 … 22
■ 故障と対策 … 23
■ 播種作業がうまくいかない時は … 24
■ アフターサービス … 24

日本プラントシーダー株式会社

はじめに

使用目的について

本製品はシーダーテープの播種を目的とした播種機です。
使用目的以外のご使用や改造は決して行わないでください。
使用目的以外のご使用や改造を行った場合は補償の対象になりませんのでご注意ください。

ご使用前に

■ この取扱説明書はテープシーダー『TEM－4WD』の取扱方法と使用上の注意事項について記載してあります。
また、同梱のエンジン取扱説明書は本製品に搭載しているエンジンの取扱方法と使用上の注意事項について記載してあります。
ご使用前には、必ず取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にご使用ください。
■ お読みになった後も、いつでもご覧いただけますように大切に保管してください。
■ 本製品を貸したり譲渡される場合は、取扱説明書を製品に添えてお渡しください。
■ 取扱説明書を紛失または汚損された場合は、お買い求めになった販売店にご注文ください。
■ 取扱説明書の内容は予告なく変更させていただく場合がありますので予めご了承ください。
■ ご不明な点やお気づきの点がございましたら、お買い求めになった販売店または最寄りの営業所にご相談ください。

■ ⚠ 印の表示のある項目は、安全のために必ずお守りください。

⚠危険	記載されている内容を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことを示します。
⚠警告	記載されている内容を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示します。
⚠注意	記載されている内容を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や製品が破損する恐れがあることを示します。

■ 取扱説明書には正しく安全にご使用いただくための注意事項が記載してあります。ご使用前に必ずお読みください。

安全に関するご注意

安全のために必ずお守りください。

記載してある注意事項を守らないと、死亡を含む傷害や事故・機械の損傷が生じる恐れがあります。

■ 一般的なご注意

⚠警告	■ 以下の項目に該当する場合は、本製品を使用しないでください。 ・過労、病気、薬物の影響、その他の理由により作業に集中出来ないとき。 ・飲酒をしたとき。 ・妊娠中の人 ・16才未満の人 思わぬ事故の原因になります。
	■ 安全靴・作業帽・ヘルメット・つなぎなどの作業に適した服装をしてください。 はち巻き・首巻き・腰タオルは禁止です。 機械に巻き込まれたり、滑って転倒する恐れがあります。
	■ 本製品を他の人に貸す時は、取扱方法をよく説明し、使用前に「取扱説明書」を必ず読むように指導してください。 死亡事故や重大な傷害、機械の損傷を招く恐れがあります。
	■ 改造は行わないでください。 故障や破損して、思わぬ事故の原因になります。
⚠注意	■ シーダーテープの播種以外には使用しないでください。 故障の原因になります。

■ 取付時のご注意

⚠警告	■ エンジンの始動前整備は全ての部品取付完了後に行ってください。 思わぬ事故の原因になります。
	■ エンジンの始動前整備は、事前に「エンジン取扱説明書」をよく読んでから行ってください。 思わぬ事故の原因になります。
⚠注意	■ 各部品の取付は手袋を着用して行ってください。 ケガをする原因になります。
	■ 各ボルトは確実に締め付けてください。 故障や破損してケガをする原因になります。
	■ 取付方法の手順に従い、各部品を正しい位置に取付けてください。 播種精度の低下や故障の原因になります。

■ 点検整備時のご注意

⚠危険	■ エンジン回転中や、エンジンが熱い時は、絶対に注油・給油・点検をしないでください。 燃料などに引火して、火災の原因となることがあります。
	■ 燃料補給時は、くわえ煙草や裸火照明は、絶対にしないでください。 燃料に引火して、火災をおこす恐れがあります。
	■ 燃料パイプが破損していると、燃料漏れをおこしますので必ず点検してください。 火災事故を引き起こす原因になります。
	■ 燃料を補給した時は、燃料キャップを確実にしめ、こぼれた燃料はきれいにふき取ってください。 火災事故を引き起こす原因になります。
⚠警告	■ エンジンは、風通しのよい屋外で始動してください。やむをえず屋内で始動する場合は、十分に換気を行ってください。 排気ガスによる中毒をおこし、死亡事故に至る恐れがあります。
	■ エンジンを始動させる時は、スロットルレバーを半開以上にしないでください。 始動と同時に動き出し、思わぬ事故をまねく恐れがあります。
	■ エンジン周辺部にゴミ、燃料などが付着していないか作業前に点検し、付着している場合は取り除いてください。 火災事故やオーバーヒートを引き起こす原因になります。
	■ 配線コードが他の部品に干渉していないか、被覆のはがれや接続部のゆるみがないかを、作業前に点検してください。 ショートして、火災の原因となることがあります。
	■ 点検整備は平坦で安定した場所で行ってください。 機械が転倒するなど、思わぬ事故をまねく恐れがあります。
	■ 点検整備を行う時は、必ずエンジンを止め、エンジンが冷めてから行ってください。 思わぬ事故をまねく恐れがあります。
⚠注意	■ 使用前・使用後は、必ず機械の点検整備を行ってください。 整備不良による事故や、機械の故障を生じる恐れがあります。
	■ 点検整備時に外したカバー類は、必ず取り付けてください。 機械に巻き込まれたり、思わぬ事故をまねく恐れがあります。
	■ 点検整備を行う際は、手袋を着用して行ってください。 ケガをする原因になります。
	■ 点検整備を行う際は、各ボルトに緩みがないか確認してください。 故障や破損してケガをする原因になります。
	■ 点検整備を行う際は、各部品が正しい位置に取付けられているか確認してください。 播種精度の低下や故障の原因になります。
	■ 本製品の使用燃料は自動車用無鉛レギュラーガソリンです。それ以外の燃料は絶対に使用しないでください。 始動不良、出力低下などの故障の原因になります。

■ 運搬時のご注意

⚠警告	■ 運搬車両への積み込み・積み下ろしは、必ずエンジンを止め、エンジンが冷めたことを確認して、２人以上で行ってください。 転落や火傷など、思わぬ事故をまねく恐れがあります。
	■ 運搬車両に載せて移動する時は、強度の充分あるロープで機械を固定してください。 機械が転倒したり落下して、思わぬ事故をまねく恐れがあります。

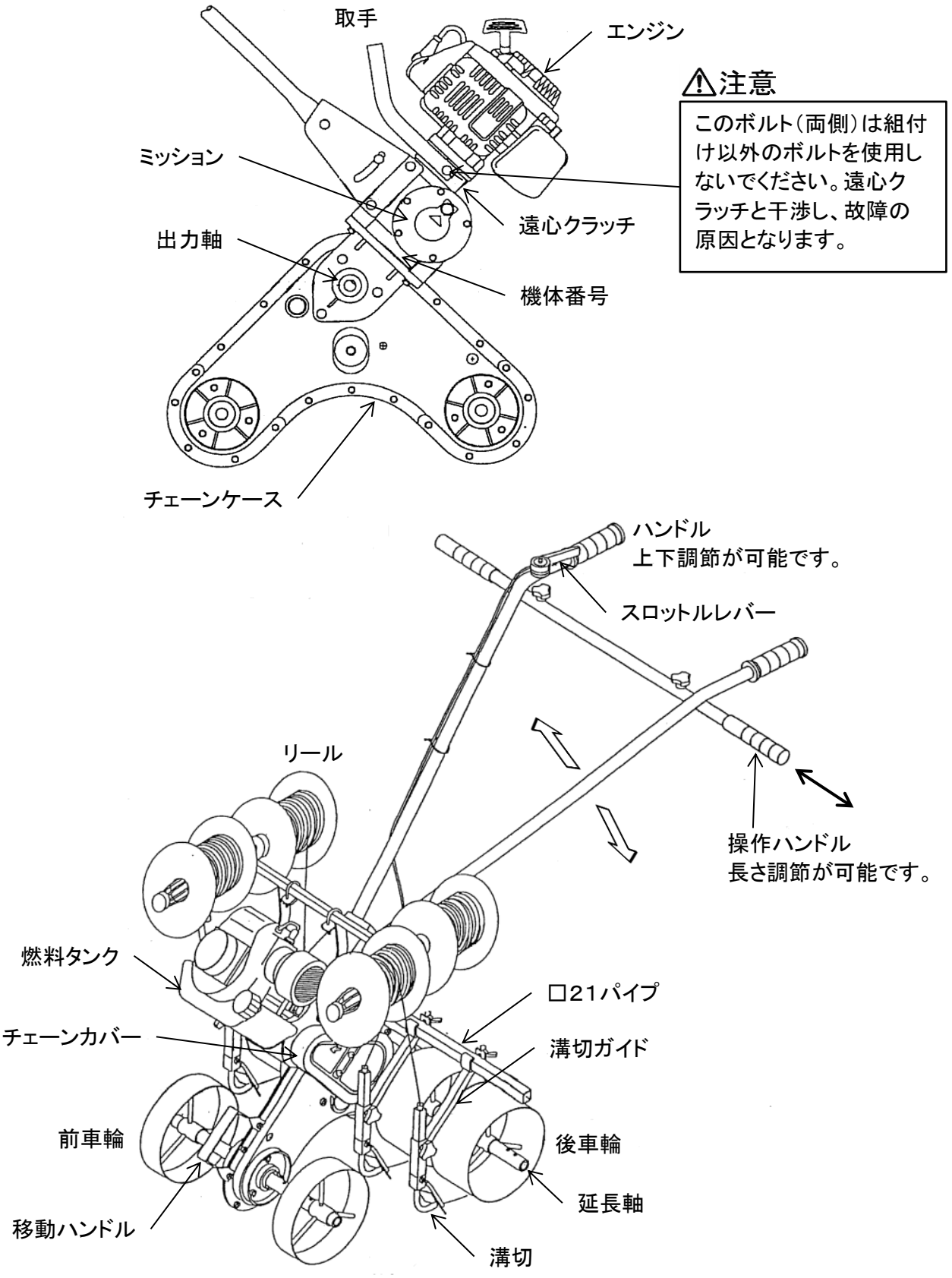
■ 作業時のご注意

⚠警告	■ ハウス内で作業を行う場合は、排気ガスが充満しないように、十分に換気を行ってください。 排気ガスによる中毒をおこし、死亡事故に至る恐れがあります。
	■ 作業中は、特に子供には充分注意し、近づけないようにしてください。 思わぬ事故をまねく恐れがあります。
	■ エンジンを始動させる時は、周囲の安全を確認し、スロットルレバーを半開以上にしないでください。 始動と同時に動き出し、思わぬ事故をまねく恐れがあります。
	■ くわえ煙草での作業は絶対にしないでください。 火災などの思わぬ事故の原因となります。
	■ 機械から離れる場合は、平坦で安定した場所に置き、必ずエンジンを止めてください。 思わぬ事故をまねく恐れがあります。
	■ 傾斜地での作業は避けてください。 転落したり、思わぬ事故をまねく恐れがあります。
	■ わき見運転や手放し運転は絶対に行わないでください。 思わぬ事故をまねく恐れがあります。
	■ 発進・停止はゆっくりと行ってください。また、旋回をする時は、充分スピードを落としてください。 機械の故障や、思わぬ事故をまねく恐れがあります。
	■ 作業中に異常を感じた場合は、すぐにスロットルレバーを戻し、エンジンを止めてください。 思わぬ事故をまねく恐れがあります。
⚠注意	■ 機械に付いた土や草を取り除く時は、必ずエンジンを止めてください。 思わぬ事故をまねく恐れがあります。
	■ 本製品には後進機構がありません。方向転換を行う場合は、前進状態で行ってください。 無理に後退させると、機械の故障や、思わぬ事故をまねく恐れがあります。
	■ 緊急時以外は、高速回転で運転中に、急にエンジンを停止させないでください。 エンジンに過負荷がかかり、故障の原因になります。
	■ 低速運転（4000rpm）での長時間の連続作業は避けてください。 クラッチシューの寿命を低下させます。
	■ 夜間作業は絶対に行わないでこさい。 周囲の状況がわかりにくく、思わぬ事故をまねく恐れがあります。
	■ シーダーテープの播種以外には使用しないでください。 機械の故障の原因になります。
	■ 使用方法の手順に従い、正しく使用してください。 播種精度の低下や機械の故障の原因になります。

■ 保管時のご注意

⚠危険	■ 機械にシートカバーをかける場合は、エンジン等が充分冷めてから、かけてください。 火災の原因になります。
⚠警告	■ 長期間使用しない場合は、燃料を抜いてください。 燃料が変質してエンジンの故障の原因になったり、火災の原因になります。
	■ エンジンや機械に付いた土や草等は取り除いてください。 機械の故障や、火災の原因になります。
⚠注意	■ 長期保管する場合は、直射日光を避け、高温多湿の場所や水のかかる場所を避けて保管してください。 ゴムや樹脂部品の劣化や、金属部品のサビ発生等の原因となります。

各部の名称



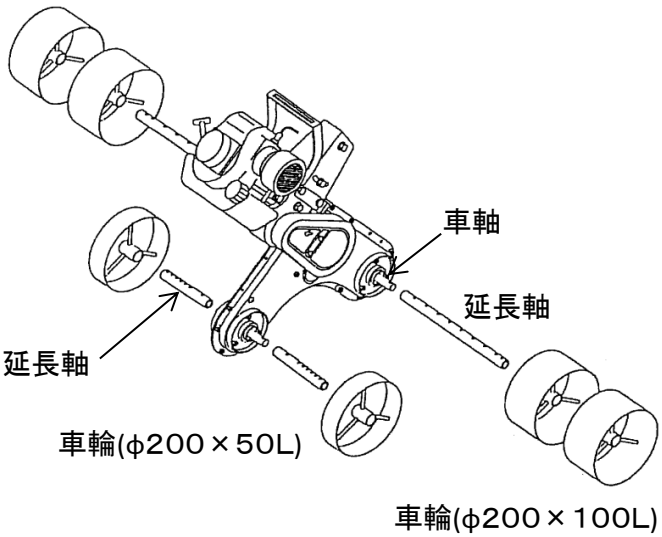
この取扱説明書は4条標準仕様を基準に説明してあります。ご不明な点がございましたら、お買い求めになった販売店または最寄りの営業所にお問合せください。

作業機の組立

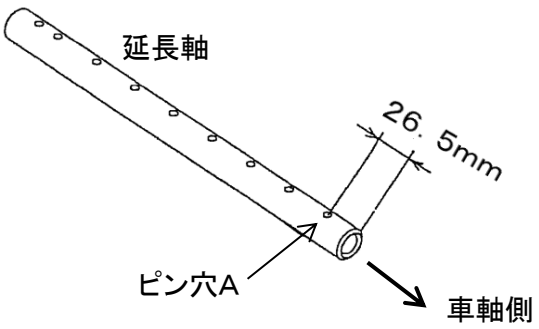
■ 車輪と延長軸の取付

本機の車軸に延長軸をピンにて取付け、その延長軸に車輪を挿入し、ピンにて取付けてください。

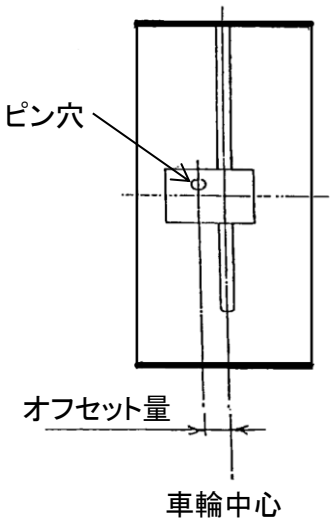
前車輪は播種条間の間となるようにし、後車輪は播種後の鎮圧輪となる位置に取付けてください。



ピン穴A位置に車輪を取付ける時は、延長軸と車輪を一緒にピンにて取付けてください。



車輪のピン穴は、車輪中心よりオフセットして穴をあけてあります。従って、車輪の取付方向により、車輪取付位置がオフセット量分変位します。



⚠注意

車輪の取付け位置を本機より離すほど、本機車軸の軸受部への負荷が増加し、軸受寿命が低下しますので、ご注意ください。

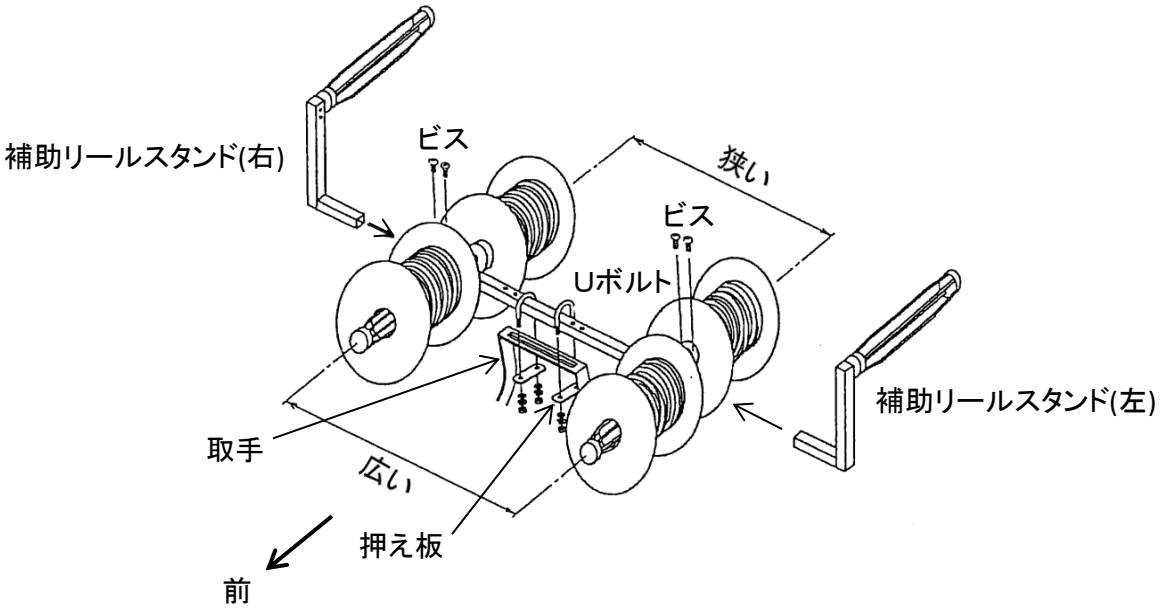
■ リールスタンドの取付

【2，3，4条用】

リールスタンドの左右が均等になるように、またリールホルダーの間隔が広いほうを前側にして、エンジン上部の取手にUボルトで取付けてください。

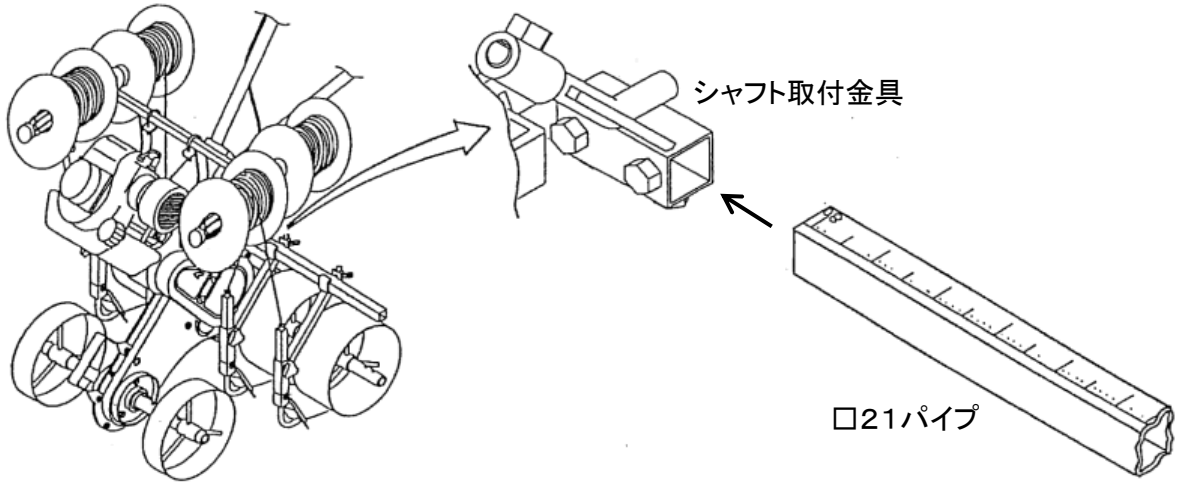
【5，6条用】

4条用リールスタンドに補助リールスタンドを奥まで差し込み、ビスで固定してください。



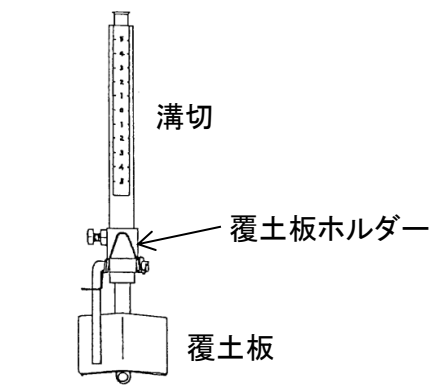
■ □21パイプの取付

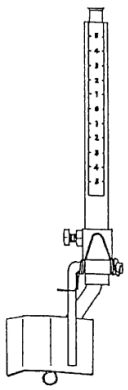
□21パイプをシャフト取付金具に目盛が上向きとなるように差し込み、中央位置にてボルトで固定し、緩み止めナットを締め付けてください。

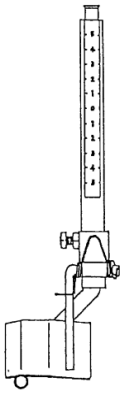


■ 溝切，溝切ガイドの取付

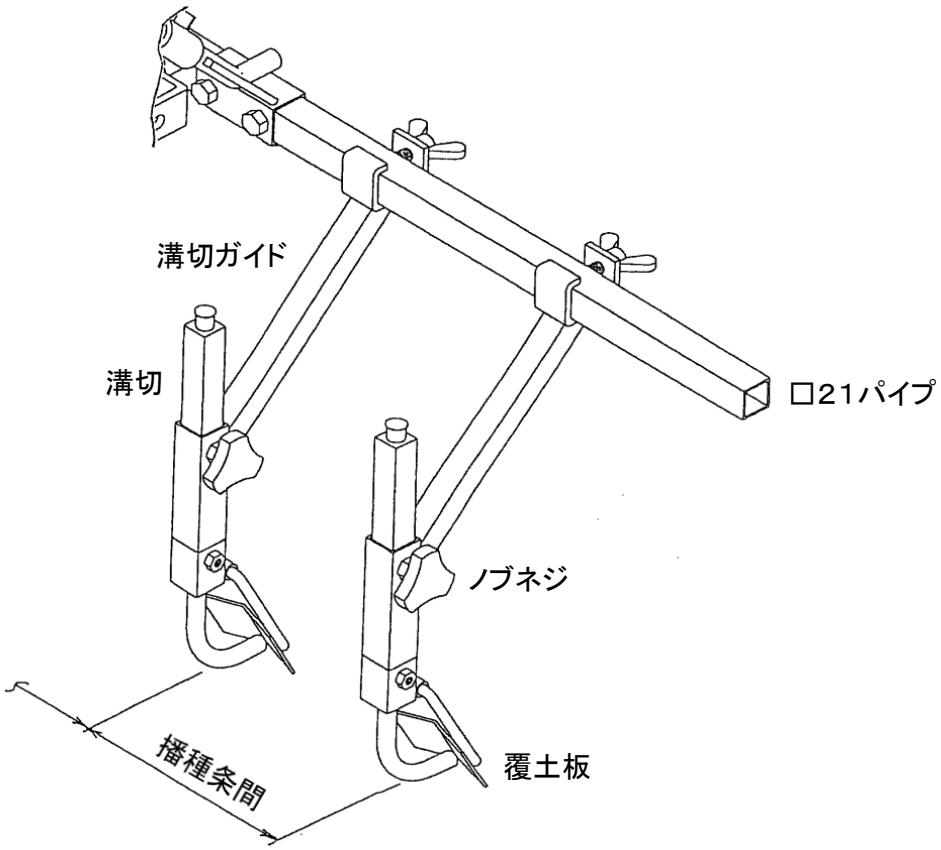
溝切に覆土板の先端から丸パイプが8割ほど出る位置に覆土板ホルダーを固定してください。
覆土板を固定した溝切を溝切ガイドに差し込み、ノブネジにて固定してください。次に、溝切ガイドを□21パイプに取付け、播種条間位置に固定してください。







標準型	9～15cm条間内側用(右)	中央播種用
	15cm以下の条間に内側2本のみに使用します。 ※左用もあります。	3条や5条時等の右側に取付け、播種先端の丸パイプが本機の中央にくるようにセットします。

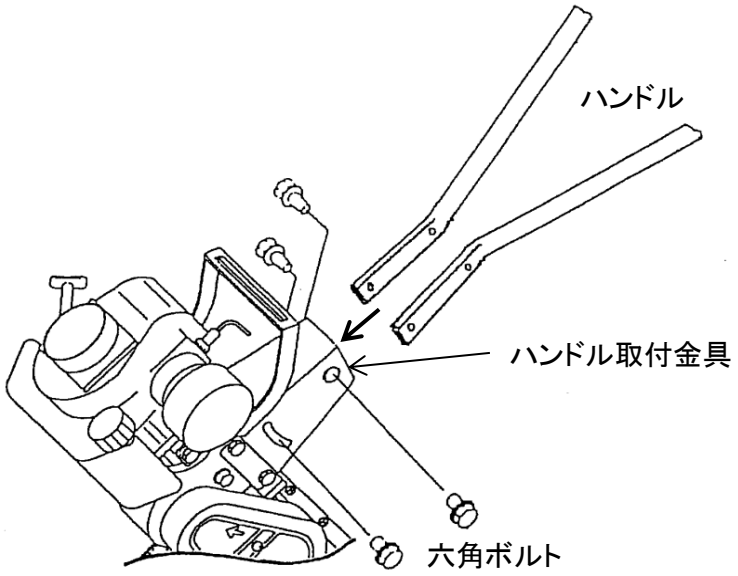


⚠注意

必ず、播種条間寸法を確認して取付けてください。

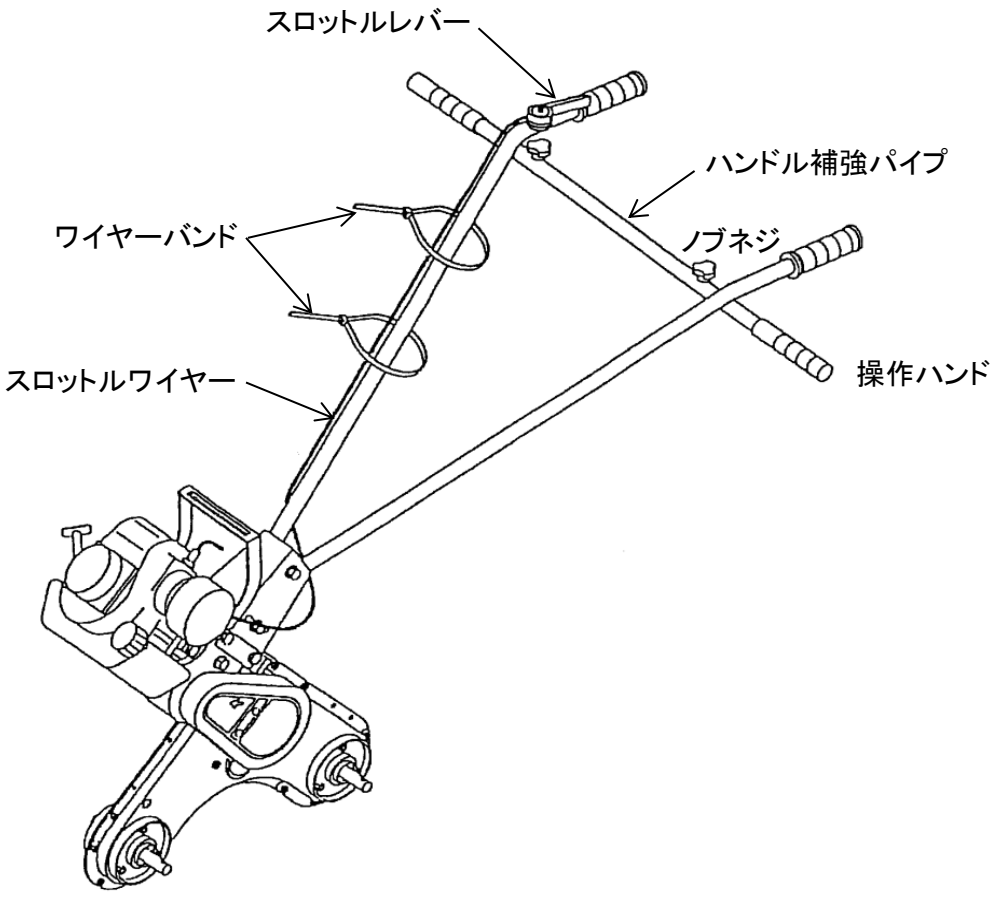
■ ハンドルの取付

ハンドルをハンドル取付金具に差し込み、六角ボルト4本で仮止めします。
次に、ハンドル位置を作業し易い位置に合わせて六角ボルトを締め付けて固定してください。



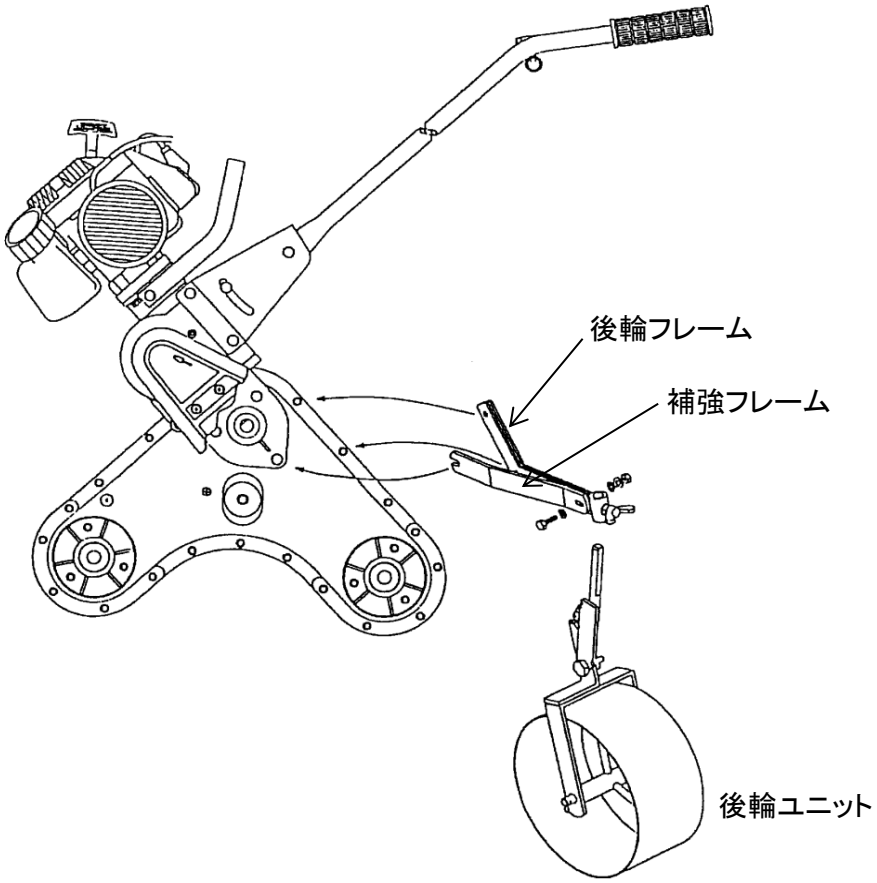
■ スロットルワイヤーと操作ハンドルの取付要領

スロットルワイヤーをハンドルに沿わせてスロットルレバーに接続します。
スロットルワイヤーをワイヤーバンドでハンドルに固定し、ワイヤーのたるみを防止してください。
操作ハンドルは、ハンドル補強パイプに差し込み、作業し易い位置でノブネジを締め付けて固定してください。



■ 中央用後輪の取付（3条，5条用）

本機の図示位置に、後輪フレームと補強フレームを共締めしてください。
取付けたフレームに後輪ユニットを差し込み固定してください。



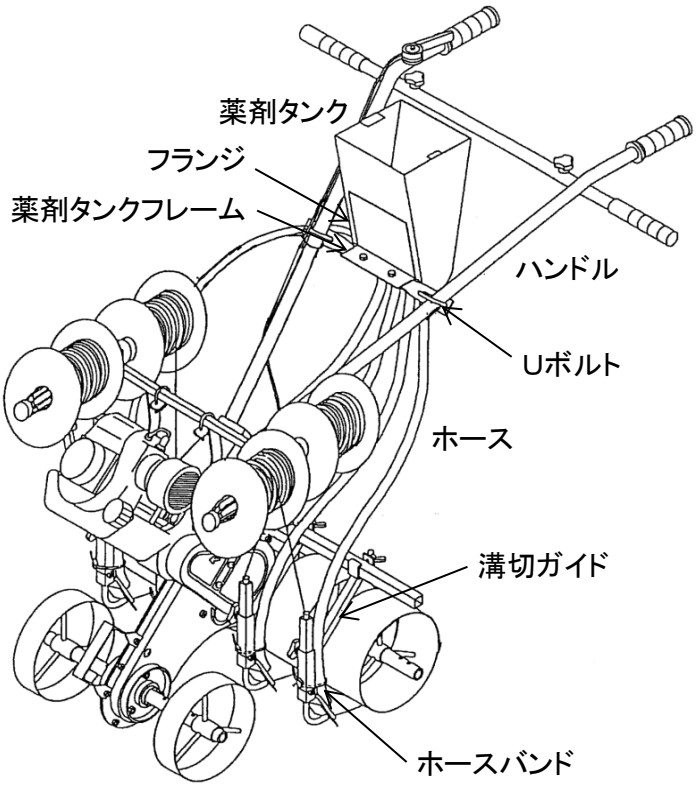
オプション部品（別売）の取付

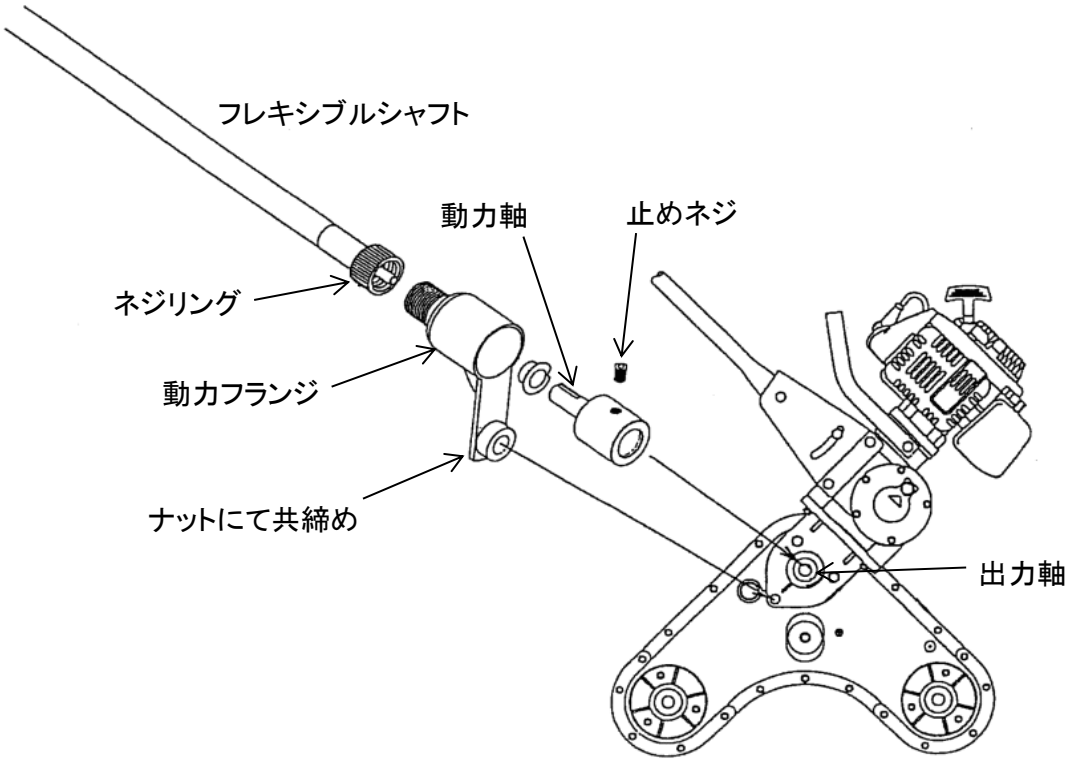
■ 薬剤散布セットの取付

① 薬剤タンクフレームを本機のハンドルにUボルトにて固定してください。
次に、薬剤タンクをフランジが右側になるように薬剤タンクフレームに取付けてください。

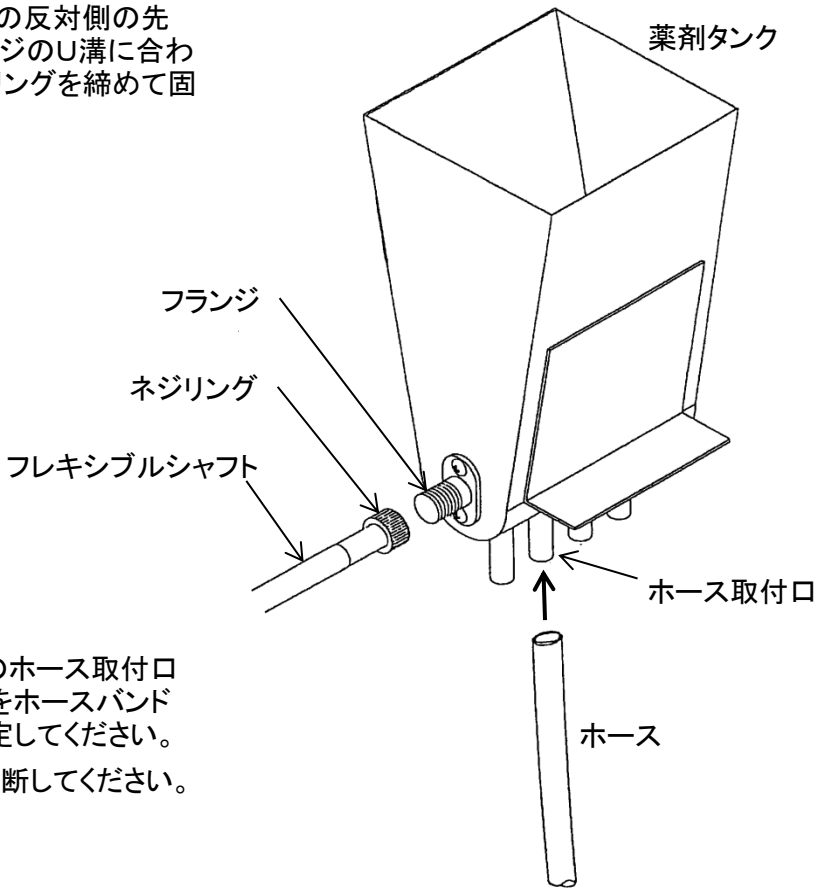
② 本機右側の出力軸に、動力軸を差し込み、止めネジで固定してください。

③ 動力軸に動力フランジを差し込み、本機の図示位置にナットにて共締めしてください。
フレキシブルシャフトの先端を動力軸のU溝に合わせて差し込み、ネジリングを締めて固定してください。

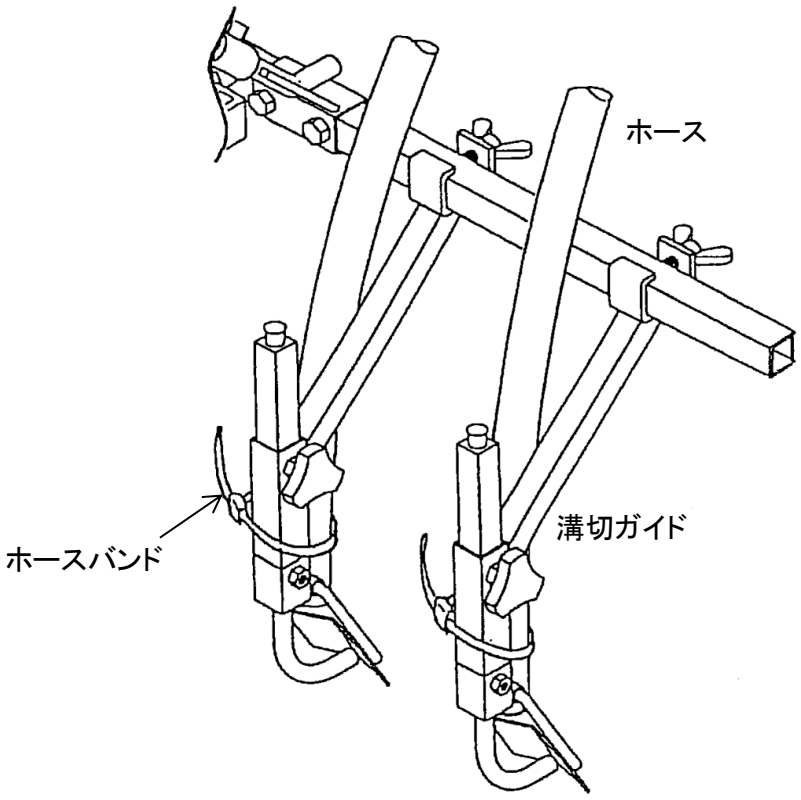




④ フレキシブルシャフトの反対側の先端を薬剤タンクフランジのU溝に合わせて差し込み、ネジリングを締めて固定してください。



⑤ ホースを薬剤タンクのホース取付口に差し込み、反対側をホースバンドにて溝切ガイドに固定してください。
ホースの余剰分は切断してください。



■ 薬剤タンクのセッティング（繰出コマ丸型式用）

① 条数のセット

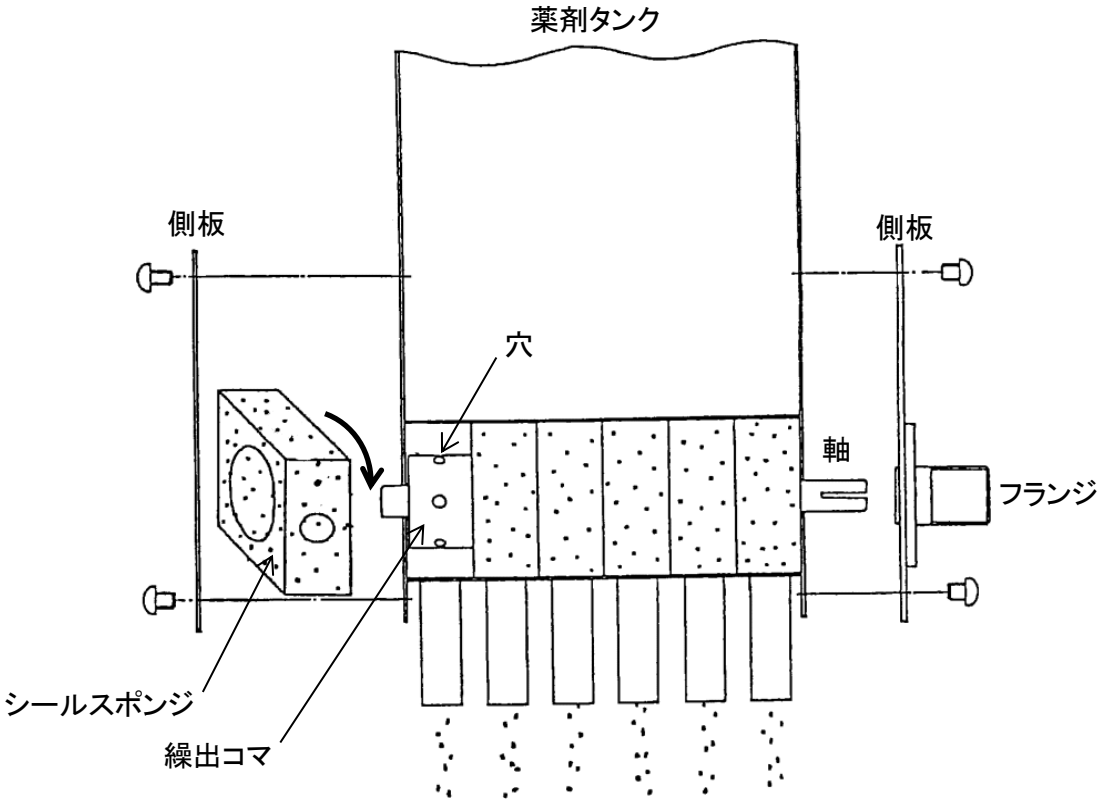
本装置は1～6条用まで使用できます。
条数のセットは、本装置の側板を外し、散布を停止させたい箇所のシールスポンジを90度回転させてください。

薬剤タンク内を上から覗いた時に、シールスポンジの穴が上面に有る箇所が、薬剤散布可能箇所となります。

① 薬剤散布量（繰出コマ）

散布量を多くしたい場合は、繰出コマの穴径を大きくするか、穴数を増やしてください。

薬剤粒子に対して繰出コマの穴径が小さい場合は、繰出コマの穴径を大きくしてください。



⚠警告

・ご使用する薬剤は、必ず、その薬剤の取扱い方法を守ってください。
薬剤による中毒等の原因になります。

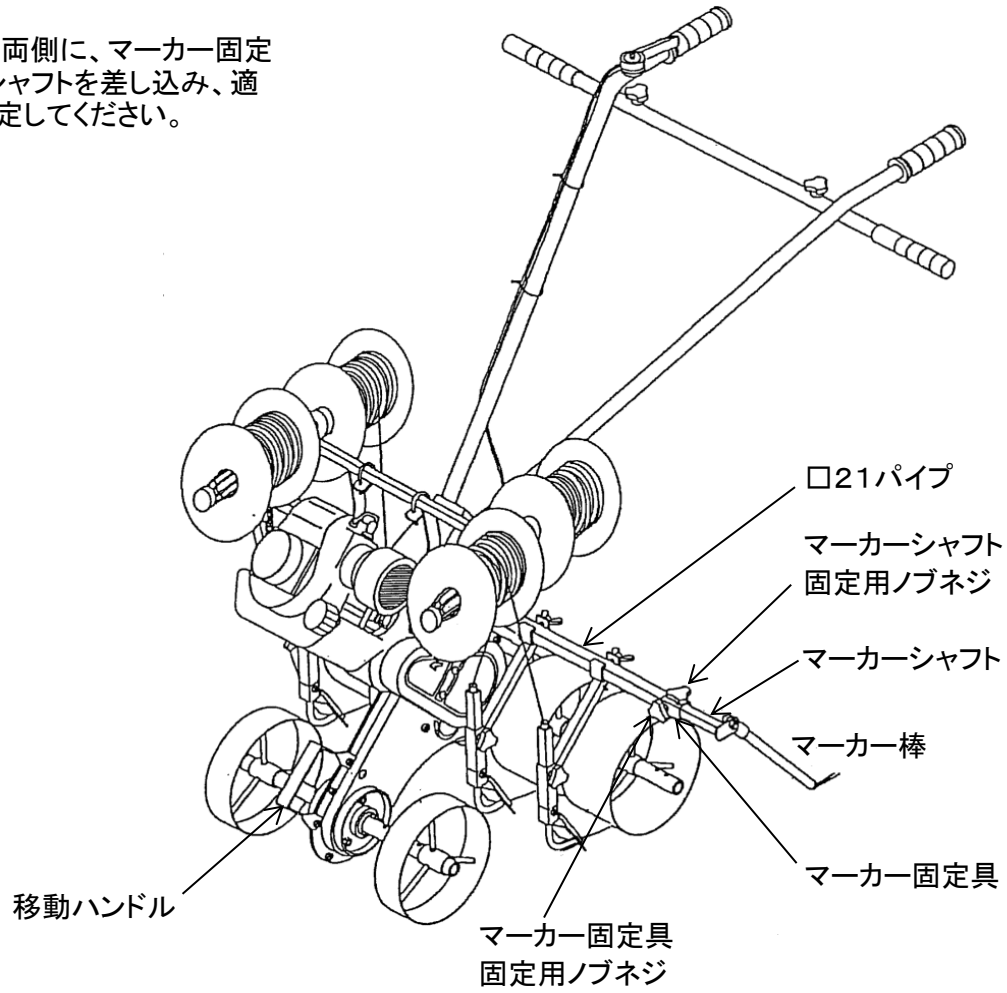
⚠注意

・以下のご使用はできません。シールスポンジやフレキシブルシャフト等の破損や薬剤漏れの原因となります。
  ・薬剤粒子の細かいもの，大きすぎるもの、または粒状以外のもののご使用
  ・薬剤タンク内に異物が入ったままでのご使用
  ・薬剤が凝固した状態等の繰出コマに過大な負荷がかかる状態でのご使用
・ご使用後は、薬剤を薬剤タンクから取り出し、薬剤の取扱い方法に従って保管してください。また、薬剤タンク，シールスポンジ，繰出コマ，ホース等に付着した薬剤を除去してください。

■ マーカーの取付

① 両サイドマーカー

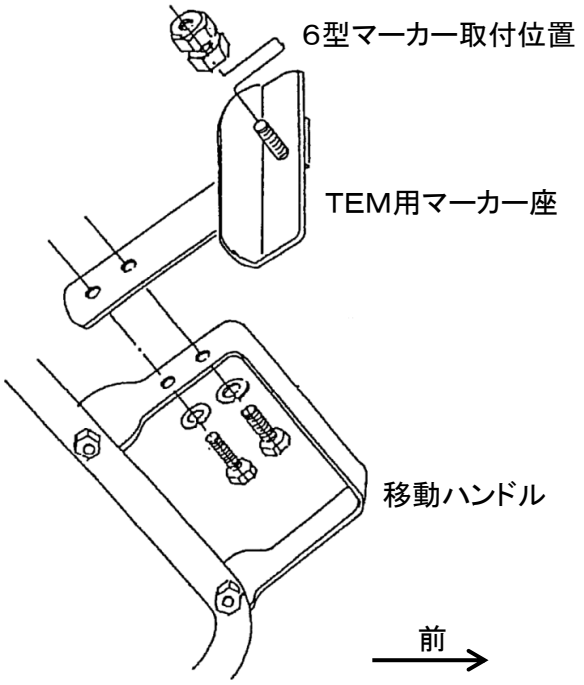
□21パイプの両側に、マーカー固定具とマーカーシャフトを差し込み、適切な位置に固定してください。



① 6型マーカー

本機の移動ハンドルにTEM用マーカー座を固定し、TEM用マーカー座のボルトに対して6型マーカーが回動するようにダブルナットで抜け止めしてください。

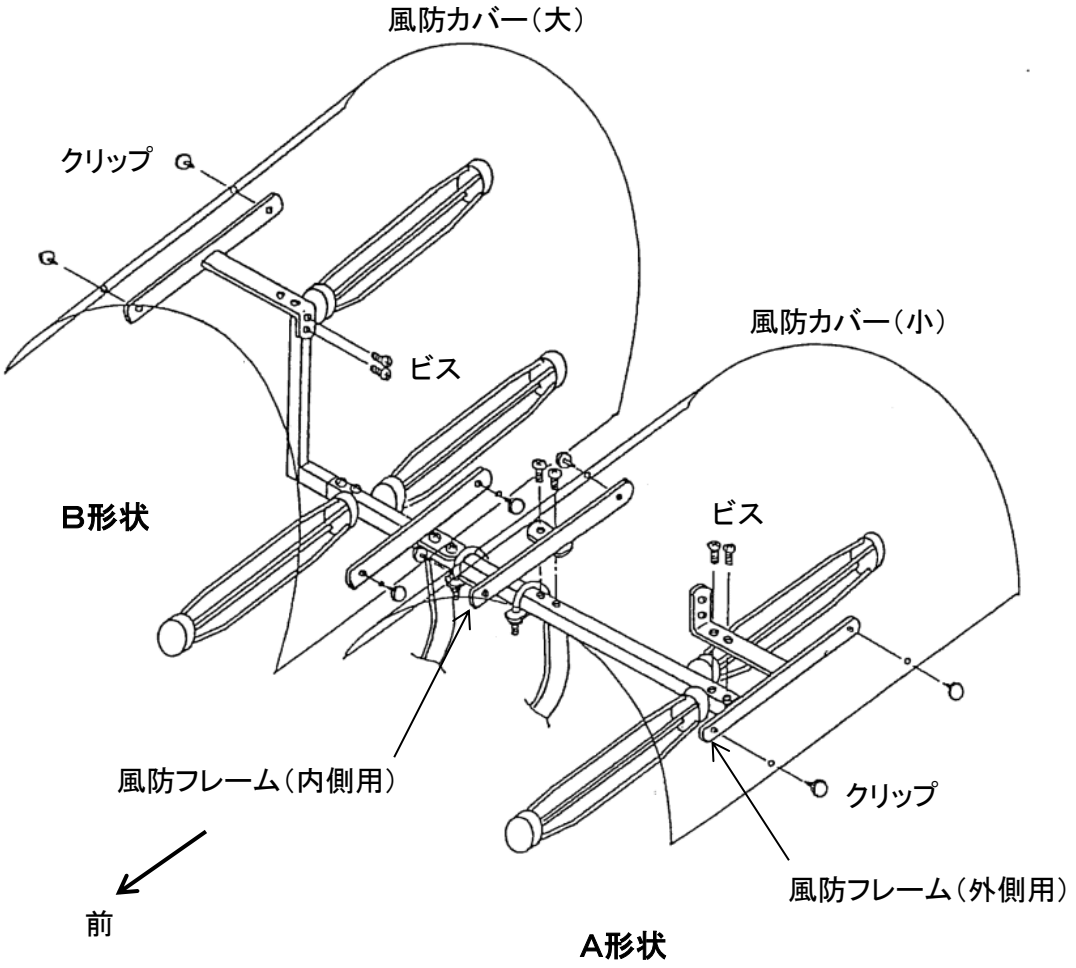
6型マーカーを取付ける場合は、別途TEM用マーカー座が必要となります。



■ 風防の取付

① 下図を参考に風防フレーム（4個）を取付けてください。
- ・2～4条の場合 ：A形状を左右対称となるように組み立ててください。
- ・5条の場合 ：下図のとおりに組み立ててください。
- ・6条の場合 ：B形状を左右対称となるように組み立ててください。

② 風防カバーをクリップで固定してください。

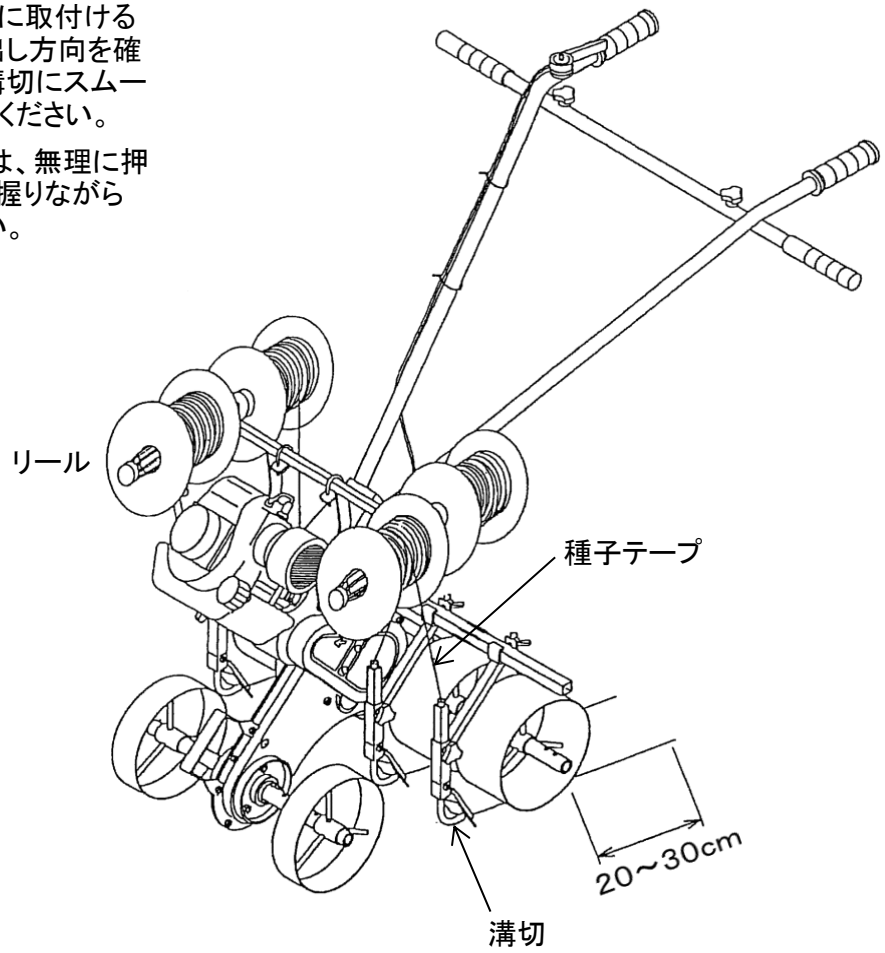


運転前の準備

■ リールの取付

リールをリールホルダーに取付ける時は、種子テープの繰出し方向を確認の上、種子テープが溝切にスムーズに入るように取付けてください。

リールの挿入が硬い時は、無理に押し込まず、ホルダー部を握りながらリールを挿入してください。



■ 溝切へ種子テープを通す

案内用の通し線を溝切に通し、通し線に種子テープを引掛けて下側より引き出してください。

種子テープの引き出し長さは後輪より後方に20～30cmほどです。

⚠注意

- 溝切に通した種子テープがスムーズに出るかを確認してください。
- リールから溝切の間で種子テープのたるみがあると、種子テープの引っ掛かりや切れの原因となります。
- リールは播種する直前に取付け、ご使用後は、速やかに取り外して冷暗所等で保管してください。
  リールを取り付けたまま長時間放置すると、テープの固着等が発生してご使用出来なくなることがあります。

運転，作業，移動の仕方

■ エンジンの始動

製品に同梱の「エンジン取扱説明書」をよくお読みになり、下記注意点を守って、正しく安全にご使用ください。

⚠警告

・エンジンを始動する時は、機体を平坦な広い場所に置き、始動時に倒れないように安定した姿勢にして、取手部を押えて始動させてください・
・始動時に、スロットルレバーを半開以上にしないでください。
始動と同時に動き出して危険です。
万が一動き出した時は、直ぐにスロットルレバーを低速に戻すか、エンジンスイッチをOFFにしてください。
エンジンスイッチの位置は、「エンジン取扱説明書」で確認してください。

⚠注意

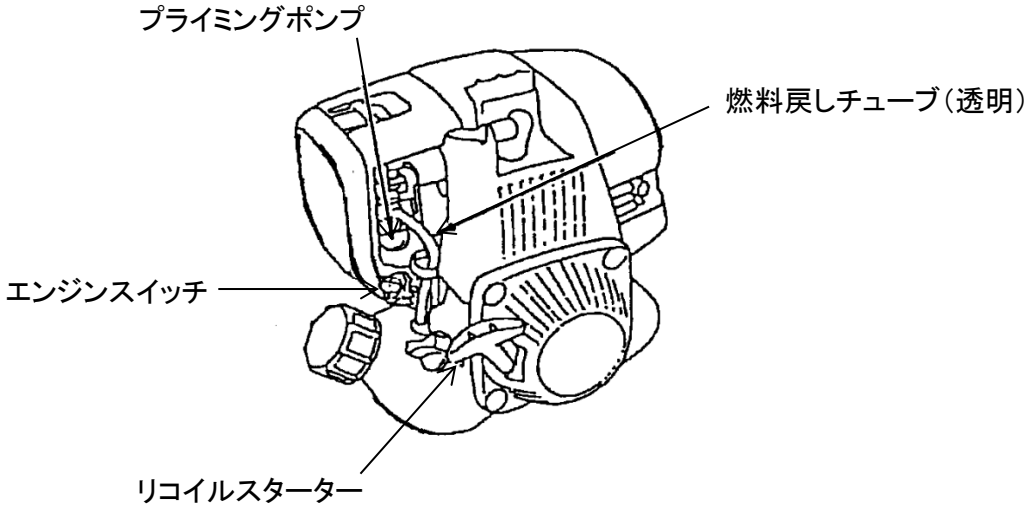
・使用燃料は自動車用無鉛レギュラーガソリンです。
ガソリンにエンジンオイルを混合した混合ガソリンは使用しないでください。

■ エンジンの停止

製品に同梱の「エンジン取扱説明書」をよくお読みになり、下記注意点を守って、正しく安全にご使用ください。

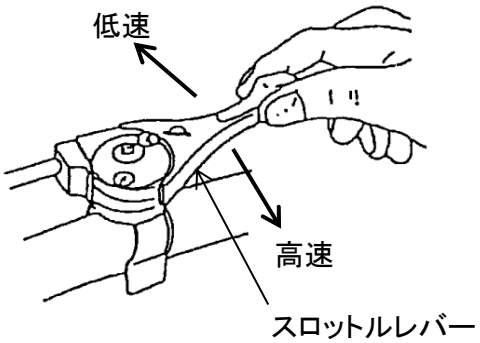
⚠注意

・高速回転で運転中に急に停止させるとエンジンに過負荷がかかり故障の原因となります。
緊急時以外はアイドリング位置に戻して1～2分間運転後にエンジンスイッチをOFFにしてください。



■ 発進と播種深度調整

① スロットルレバーを操作しエンジン回転を徐々に上げると発進します。
エンジン回転が上がると速度が上がり、エンジン回転を下げると速度が下がります。
作業に合った速度に調整してください。



② 発進時は種子テープの端を踏んで押えてください。
1～2m程度走行したら一旦停止し、種子テープの深さを確認してください。
播種深度の調整は溝切パイプを上下に調整し、調節後はノブネジを締めて固定してください。

■ 走行，旋回

走行は、操作ハンドルとスロットルレバー操作で行います。

旋回または進路変更する時は、エンジン回転を低速はたは停止します。次に、種子テープを切断し、溝切パイプや後輪を浮かして行ってください。
自走旋回できない場所では、補助者と2人で、取手，ハンドル，移動ハンドルを持って、機体を持ち上げて移動してください。

⚠警告

- 機体を持ち上げて移動する時は、エンジン等の高温となる部品に触らないように十分注意してください。
- 作業中に各部の調整をする時は、必ずエンジンを停止してから行ってください。また、エンジン等の高温となる部品に触らないように十分注意してください。
- 傾斜地での運転は転倒等の恐れがありますのでお止めください。
- 本機は後退機構がありませんので、無理に後退しようとすると、転倒するなど思わぬ事故をまねく恐れがあります。
- 作業中に異常が生じた時は、直ぐにスロットルレバーを戻し原因を確認してください。
  原因がわかった時は、その原因を取り除いてから、作業を再開してください。
  原因がわからない時は、作業を中止し、お買い求めになった販売店または最寄りの営業所のお問合せください。

⚠注意

- 低速（4000rpm）での連続作業は、クラッチシューの寿命を低下させますので、長時間の使用は避けてください。

■ 停止

スロットルレバーを操作してエンジン回転を徐々に下げると、エンジンがアイドル状態になり停止します。
作業を終了する時は、エンジンスイッチをOFFにしてください。

■ 自動車等での運搬・移動

⚠警告

- 積み込み・積み下ろしは、必ずエンジンを停止し、必要により2人以上で行ってください。
- 積み込み時は、エンジンを上側にして積み込み、転倒や落下しないようにロープを掛けて固定してください。

※ やむを得ず機体を横に寝かせて積み込む時は、振動を避けるために機体に下に枕をかませ、オイル流出を防ぐためにチェーンカバーを下側に向けてください。

点検と整備・調整

■ 日常の清掃，整備

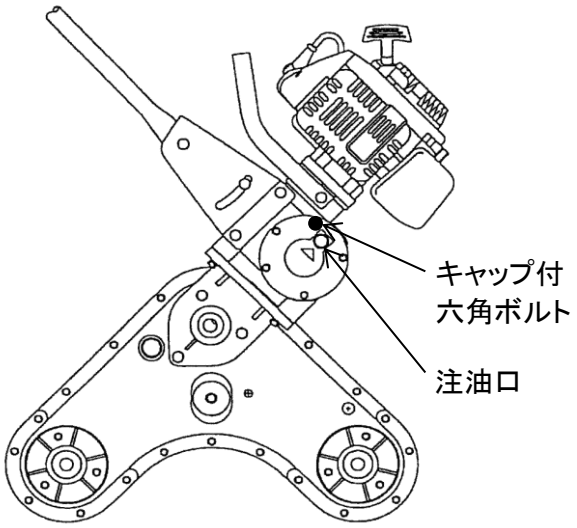
・付着した砂土は、作業終了後できるだけ早めに清掃してください。
・溝切や車輪に巻きついた草類は取り除いてください。
・車輪や溝切以外は水洗いをしないでください。
　水がかかった時は、直ぐに拭き取ってください。
　清掃後は、防錆処理をしてください。
・ボルト類の緩みやピン等の脱落、その他破損等を確認し、異常がある場合は修理してください。
・溝切パイプが摩耗している場合は交換してください。
　種子テープ切れの原因となることがあります。

・エンジンの日常の清掃・調整については、「エンジン取扱説明書」に従って行ってください。

■ ミッションオイルの点検

キャップ付六角ボルトを外して、ボルト穴よりミッションオイルが目視確認できれば、ほぼ規定量のミッションオイルが入っています。

ミッションオイルを補給する場合は、注油口の六角ボルトを外し、ウォームギヤオイル＃460番相当を約50cc注入してください。

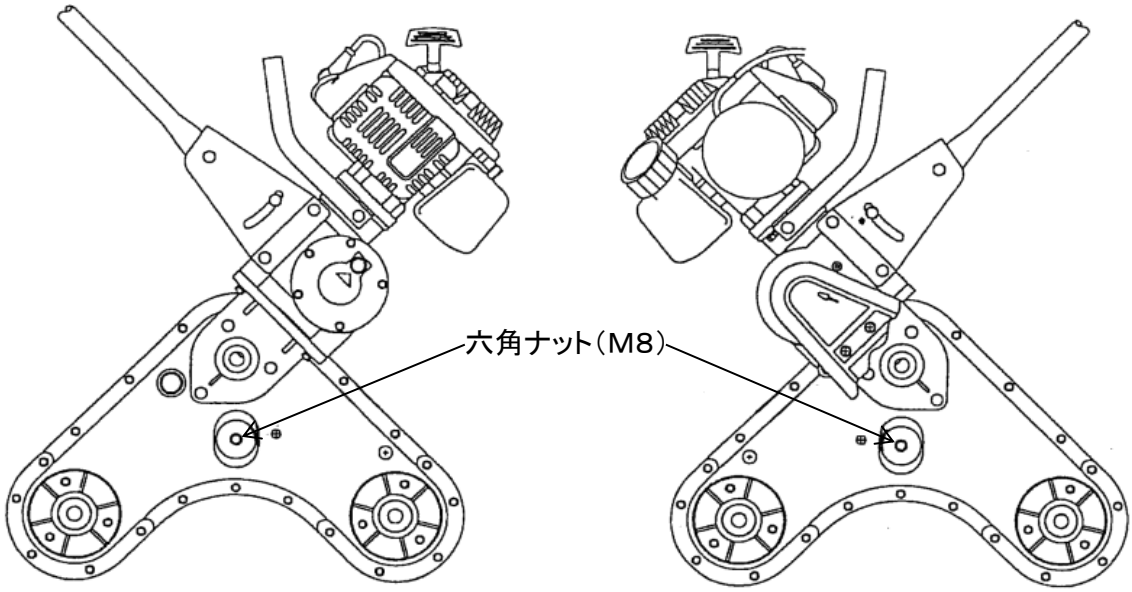


⚠警告

・各部の点検・整備を行う時は、必ずエンジンを停止させ回転部が完全に止まってから行ってください。
　思わぬ事故をまねく恐れがあります。
・エンジン停止直後は、エンジン周辺の高温となる部品に触らないように十分注意してください。

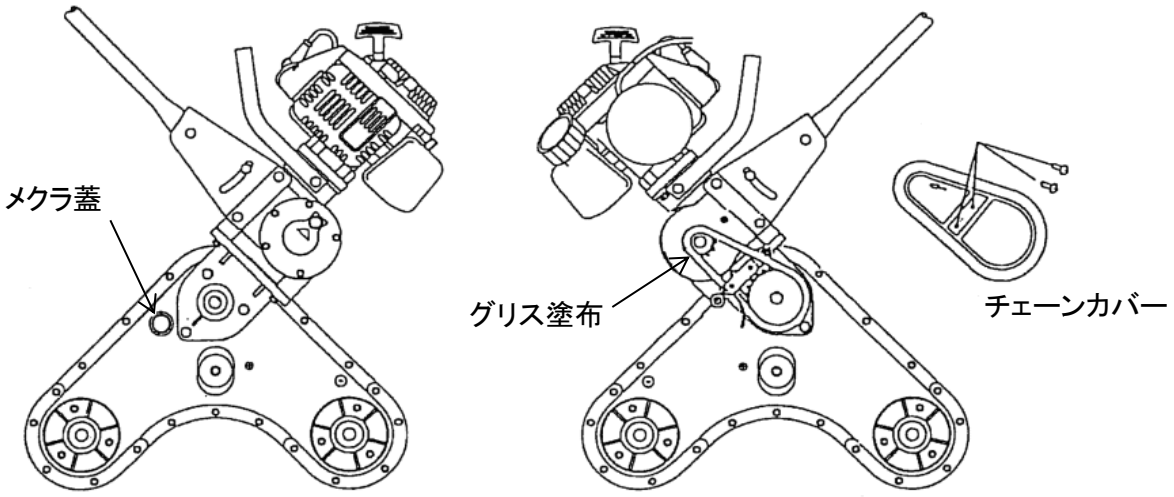
■ 本体チェーンの張り方

本機は、駆動伝達にチェーンを使用しており、作業開始から約30時間程度で初期伸びが発生します。
作業開始後30時間経過時点で、図示六角ナット（両側）を緩め、チェーンの張りを調整（上方向で張りが強くなる）し、緩めた六角ナットを閉め込んでください。
チェーンの張り調整については、定期的（約30時間使用毎）に実施してください。



■ チェーングリス塗布要領

本機にはチェーングリスが予め塗布してありますが、約50時間使用毎に、本体側面のメクラ蓋及びチェーンカバーを外し、スプレー式グリスを適量塗布してください。
塗布後は、メクラ蓋及びチェーンカバーをもとの位置に確実に取付けてください。



⚠注意

・取り外したカバー類は、必ずもとに位置に確実に取付けてください。
機械に巻き込まれたり、思わぬ事故をまねく恐れがあります。

長期保管

・燃料タンク内の燃料は抜き取り、燃料パイプに残った燃料は、エンジンを始動して使い切ってください。
・エンジンの長期保管時の注意事項詳細については「エンジン取扱説明書」に従って行ってください。
・各部の清掃、点検、注油を実施し、ほこり防止のためにシートカバーをかけて、転倒しないように固定してください。
・直射日光や高温多湿、水のかかる場所での保管は、ゴムや樹脂部品の劣化、機械部品の錆の原因となりますので避けてください。

⚠危険

・燃料の取扱い時は、火気厳禁です。火災事故を引き起こす原因になります。

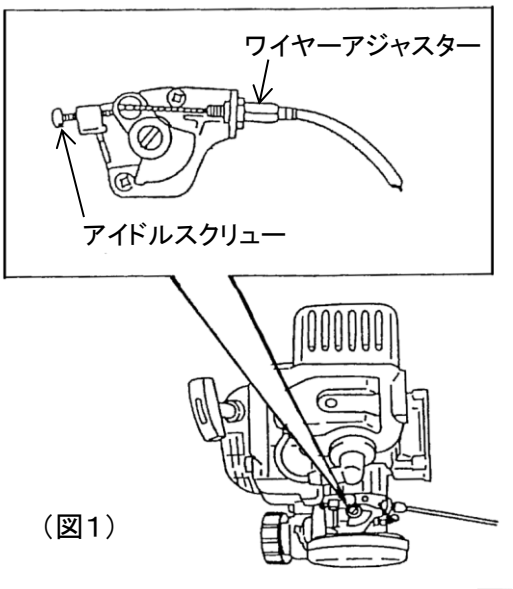
⚠警告

・清掃、点検、注油等を行う場合は、必ずエンジンを停止して、充分冷めてから行ってください。
・シートカバーをかける場合は、エンジン等が充分冷めてからかけてください。

故障と対策

修理を依頼される前に次の点検をしてください。

現象	原因	対策
始動しない	・燃料切れまたは不良燃料	・燃料補給，交換
	・燃料フィルタの目詰まり	・清掃
	・始動操作ミス	・エンジン始動方法の再確認
	・点火プラグ不良	・交換
	・コイル・イグナイター不良	・交換
	・気化器不良	・調整，交換
	・マフラーの詰まり	・清掃
出力不足	・スロットルワイヤー調整不良	・調整
	・エアクリーナーエレメント目詰まり	・清掃
	・排気ポート，マフラーにカーボン付着	・清掃
	・不良燃料	・燃料交換
排気音が大きくなる	・マフラーの緩み	・増締
スロットルを絞ってもエンジン回転が下がらない	・クラッチスプリングの折損	・交換
	・キャブレター調整不良	・アイドルスクリュー・ワイヤーアジャスターを調整する。（図1）
	・スロットルワイヤー取付不良	・取付けの確認・調整
エンジンの回転を上げても動かない	・車輪軸等への小石や紐等挟み込み	・除去
	・過度な重量物の積載	・除去
	・チェーンカバー内のスプロケットキーが抜け落ちている	・交換
	・ウォームギヤの摩耗	・交換
作動中に突然動かなくなった	・車輪軸等への小石や紐等挟み込み	・除去
	・燃料切れ	・燃料補給



（図1）

処置した後になお異常がある場合は、お買い求めになった販売店または最寄りの営業所にご相談ください。

播種作業がうまくいかない時は

以下の内容を確認して、異常がある場合は処置してください。

■ 覆土にムラが出る

・溝切パイプの上下方向位置にバラツキが無いか、または溝切パイプが緩んでいないか。
・溝切パイプが浅すぎないか。
　土壌条件によっては、8mm以下での覆土はムラが出ることがあります。
・圃場に凹凸が有りすぎ整地が悪い。
・土質が湿りすぎている。ゴロ土である。石や草等が土中にある。

・覆土板のバネの強さを変えたり、バネを外すことで覆土ムラが改善する場合があります。

■ 種子テープが切れる

・リールの固定方向（種子テープの引き出し方向）は適切か。
・溝切パイプがすり減ったものを使用していないか。
・その他、種子テープの経路に障害となるようなものはないか。

アフターサービス

■ 修理を依頼される前に、取扱説明書をよくお読みいただき、再度ご点検の上、なお異常がある場合は、お買い求めになった販売店または最寄りの営業所にご相談ください。

■ 取扱説明書に記載以外の修理・分解・改造に起因して生じた異常に関しましては、修理をお引き受けできない場合がありますことを予めご了承ください。

この取扱説明書に内容を、お断り無しに変更することがありますので予めご了承ください。

日本プラントシーダー株式会社

本社　…　TEL 03-5623-1183　FAX 03-5623-1187
〒103-0023　東京都中央区日本橋本町４－９－２

川越工場　…　TEL 049-232-6221　FAX 049-233-0721
〒350-0815　埼玉県川越市鯨井1684

北見営業所　…　TEL 0157-36-6206　FAX 0157-36-7622
〒090-0056　北海道北見市卸町３－６－４

札幌営業所　…　TEL 011-895-3248　FAX 011-895-3249
〒004-0022　北海道札幌市厚別区厚別南１－３－８

仙台営業所　…　TEL 022-288-2331　FAX 022-288-2333
〒984-0002　宮城県仙台市若林区卸町東５－４－４

関東営業所　…　TEL 03-5623-1183　FAX 03-5623-1187
〒103-0023　東京都中央区日本橋本町４－９－２

大阪営業所　…　TEL 072-480-0128　FAX 072-484-3950
〒590-0521　大阪府泉南市樽井２－３－９

九州営業所　…　TEL 096-247-0120　FAX 096-247-0122
〒861-1113　熊本県合志市栄3415－25

ホームページ　…　http://www.plantseeder.co.jp

（2014年6月　発行）